



静岡県地方版
第391号
2024-7-15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒427-0034
静岡県島田市伊太
1301-18早崎方
TEL・FAX
0547(36)4014

私たちの 運動の基本

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 一、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- 一、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と補償をおこなうこと

県知事選挙その後

県本部理事 松原 聡

川勝平太知事の辞任にともなう県知事選から2か月近くがたちました。

日本共産党は、森大介氏を党公認候補としてたたかいましたが、県民と共産党との距離が縮まった、信頼関係が一段階深まったと感じるたかいかいでした。

川勝氏が、リニア新幹線と浜岡原発再稼働について、命の水と安全を守るスタンスだったのに対して、自民推薦の大村氏と立憲・国民推薦の鈴木康友氏はリニア推進、原発にはあいまいな態度。森氏のリニア・原発ストップ、県民のくらしと福祉最優先の主張には、共感と支持が広がりました。

党県委員会事務所には、ひんぱんに共感と激励の電話があり、とくに岐阜県の水位低下の問題が報じられて以降、県外からも物心両面で支援がありました。

「私は自民党員だから本当は他の候補を応援しなればならないが、今回は森さんだ」と語ったり、他党派議員が候補者カーのアナウンサーを買って出たり、

他の候補者を推薦し政党内に「森候補を応援すべきではないか」と抗議した他党議員など、党派をこえた支持がありました。自民党政治に痛めつけられた人びとから「農業でやってゆけず農地を手放すしかない。今まで共産党に入れたことがないが、がんばれ」との電話や「自民党の裏金づくりを何とかしてほしい」など、末期状況に陥った自民党政治への怒りも寄せられました。

若い世代からも「共産党の議員の街頭演説を聞いて関心を持った」という高校生が、党事務所を訪れ「環境問題に関心がある。リニアストップには共感できる。18才になっていたら森さんに投票できたのに」と語り、後に民青同盟に加盟する経験も生まれました。

選挙後も、大学生が党事務所を訪問し、その後に民青同盟に加盟するなど、これまでにないような若い人びとの変化も起きています。

こうした変化はまだごく一部です。選挙のとりくみでうきぼりになった弱点も克服し、生まれている変化を巨大な変化にして、政治革新につなげるために、がんばり時だと感じます。
(日本共産党県常任委員・まつばら さとし)

第十一回県本部理事会を開催

7/9、静岡国労会館において第十一回県本部理事会が、理事と会計監査14人の参加のもとに開催されました。

最初に江川佐一会長が開会あいさつ。岸田政権が「戦争国家」へと暴走していることを批判するとともに沖繩の少女暴行事件を政府が6か月間も隠ぺいしてきたことを糾弾しました。また都知事選の結果にもふれ、非常に残念なものでありましたが、共産党の小池晃書記局長は「自民党政治と小池都政を変えるという旗を掲げた蓮舫候補支持を表明する新たな動きの広がりには、民主主義の力を示すもの」と語っている。わが国賠償同盟も市民と野党の共闘をさらに発展させ歴史的にも意義ある活動に頑張っていこう、と訴えました。

続いて情勢報告を佐野正明副会長、活動のまとめと当面の課題についての報告を早崎末浩事務局長が行いました。

情勢報告は、国内情勢、国際情勢、県内情勢について行いました。

今国会で大きな焦点となった自民党の裏金事件をうけた政治資金規正法の改定は、根源である企業・団体献金問題には一切触れない問題だらけのものを自公の賛成で押し通した。その一方で敵基地攻撃能力の保有、殺傷兵器の輸出を認めるなど、戦後の「平和国家」の理念をことごとく投げ捨てる法改悪を推進した。こうした自民党岸田政権には国民の厳しい目が向けられている。都知事選でステルス作戦を進め小池百合子知事の3選を果した自民党だが、同時に行われた都議補

選では公認候補8人のうち2人の当選に止まるなど5議席を大きく減らす惨敗となった。沖繩で明らかとなった米軍兵士による少女暴行事件がひた隠しにされていたことは、岸田首相の訪米や沖繩県議選を配慮したものととして厳しく批判されている。

500人会員を実現、さらに前進を

当面の課題としての会員拡大のとりくみでは、大会成功目指す「特別期間」の6月末到達は499人でしたが、その後の拡大で現在500人の峰に到達しています。「特別期間」の5人、10人拡大の顕彰基準突破者4人の他15人が拡大をすすめるなど積極的役割を果たしています。引きつづき全国大会の方針も受け、新たに発行された学習テキストも活用し国賠同盟の存在意義と役割をつかみながら、8月の県本部大会を目指し目標に掲げている520人会員実現に向けて力を尽くしましょう。

8月25日開催の県本部大会に永島事務局長

第41回県本部大会では、今回の全国大会で新たに選任された永島民男事務局長が記念講演を行います。

県本部大会は、8/1現勢で15人に一人(端数切り上げ)の支部からの代議員と評議員(代議員でない県本部理事)によって開催されます。

+
私と国賠同盟

沼駿支部 岡本 裕市

振り返ること50有余年。始まりは弾圧事件・えん罪事件でした。

戦後、千葉県の日本共産党再建に中心的役割を果たした武井茂夫さん、レッドパージで印刷業界大手に職を得ること叶わぬ中山春太郎さんなどが、千葉県佐倉市において運動への道を用意してくれていました。反核・平和運動の道と弾圧事件・えん罪事件救済の道です。

弾圧・えん罪事件の初めは白鳥事件でした。白鳥事件弾圧犠牲者・村上国治、白鳥事件対策協事務局長・金井三郎などにより運動にのめり込みました。最高裁で「再審においても『疑わしきは被告の利益に』と言う原則は適用される」という「白鳥決定」を引き出し、その後のえん罪再審の希望となりました。国民救援会静岡県本部設立の後まで、この運動に直接関わりました。隣を見ると線路上には国賠同盟が走っています。補償請求の線路です。私の走っていたのは無罪立証の線路。同じ方向に走っていた二つの線路でした。

(裾野市・おかもと ゆういち)

第41回全国大会に静岡から4名が参加

6月19、20日に東京の全労連会館で開催された国賠同盟の第41回全国大会には静岡から中央常任理事の早崎、勝呂の両名と代議員として佐野副会長、平塚事務局次長の4名が参加しました。大会での静岡関係の発言としては早崎事務局長が、支部委員会の体制確立をはかり支部を基礎にした活動の推進が大事であること、運動の継承・発展をはかっているために高齢者が多くを占める組織にあつて、若い世代に関心をもってもらえるような運動と組織のあり方を検討していくことの必要性を訴えました。今大会では、犠牲者本人がいなくなるもとで、次期大会に向けて名称を含めて検討していくことが提起されています。

沼駿支部の平和問題学習会に21人参加

沼駿支部は6月13日御殿場市民会館視聴覚室において平和問題学習会を開催しました。学習会では、オスプレイに反対する東富士住民の会事務局長の渡邊希一さんがパネルを使って分かりやすく危険な実態を語りました。

また、沼駿支部の矢崎徹夫さんが国会請願行動に参加しての報告をしました。当日、参加者の中から2名が国賠同盟に入会しました。

会員拡大と国会請願署名到達

2024.7.9現在

支部	会員拡大					国会請願署名							
	目標	5月到達	増減	現在到達	うち夫婦会員	団体目標	6月開始	増分	現在到達	個人目標	6月開始	増分	現在到達
伊豆	27	24		24	6	40	0		0	280	0	0	0
沼駿	60	59	+2	61	16	48	0	+2	2	640	0	+15	15
岳南	25	20		20	6	32	0		0	280	0		0
清水	45	35		35	8	50	0		0	900	0		0
静岡	45	36		36	2	64	0		0	400	0		0
志太椋原	140	137	+6	143	38	40	0	+1	1	320	0	+12	12
中東遠	105	101		101	16	40	0		0	320	0		0
西部	73	77	+3	80	8	64	0		0	600	0	+75	75
県本部	-	-		-		22	0	+1	1	260	0		0
合計	520	489	+11	500	100	400	0	+4	4	4,000	0	+102	102

* 署名は6月より新たに集約を始めました。

しずおか同盟文芸

※※ 短歌 ※※

(会員の皆さんの作品を適宜紹介します。作品をお寄せ下さい。)

ある朝に 反戦非戦死語と化し
非国民の語 幅きかせるか

静岡市 内田 賢一

中国に向けミサイル基地化の南西諸島
希少生物の生存 危惧しおり

静岡市 田代 元一

高草越え 39・3。C熱波 静岡へ
自然破壊の 重き見返り

静岡市 松浦美智世

編集後記

▼注目されていた都知事選で市民と野党の共闘候補の蓮舂氏が3位にとどまり、SNSを駆使しイメージ選挙を展開した石丸氏が2位に浮上したことで今後の選挙作戦が様々に検討されるでしょうが、政策を示して審判を仰ぐことは欠かせません。▼自民党はステルス作戦で都知事選をしのぎましたが、公認候補を立てた都議補選では惨敗、有権者の厳しい目が向けられています。次の総選挙に向け政権交代の声が依然として強い中、野党の力の結集のあり方が試されています。 S・H



地しはりの花

治安維持法犠牲者
 国家賠償要求同盟
 静岡県 女性部 8号
 2024年7月15日

2024年お半年が過ぎました。
 7月に入り、急に気温が上がるばかり。
 熱中症がしばしば配されます。

6月16日に沖縄の県議選があり、残念ながら野党の自民
 公明が過半数を制しました。タイミングを見計らっていたかのように
 米兵の県民に対する性犯罪が6月26日に報道されました。(19年12月の事件)
 16歳未満の少女を米兵に連れ去り、性的暴行を加えました。この事件を
 含め、昨年は5件も、怒り心頭です。1997年に日米で合意された
 通報の義務を日米のどちらか合意したの、政府は、選挙前に県に報告
 していません。玉城知事は政府に「人間の尊厳、そのものがあびやかされ
 ている」と申し入れました。沖縄には米軍基地があるばかり、犯罪
 は減らない、そして自衛隊基地も増えられつゝあり、平和とは真逆の方向に県内関
 心を取り、日本を戦争する国にする、だまされてはいけません。

7月7日(日)は、東京都知事選でした。野党と市民の共闘で「蓮舩」氏を
 送りました。現地を見、聞きして作った公約も、演説も素晴らしいものでした。
 蓮舩さん、お疲れ様...
 いちひの8年間、とくくんとこと、いづらのことは、メッアを押しさえ、報道され
 なかったことが、勝因だという見方もあります。今後、力を発揮できることを
 願います(笑)

～ 歓迎 ～
 ◎女性会員が8名増えました！心強いです。

- 裾野市、2名 (沼駿支部)
- 焼津市、2名、藤枝市、2名、志太榛原支部
- 島田市、1名
- 浜松市、1名 (西部)



〈2024年5月15日 国会請願行動に参加して〉

全国から150名余が参加し、11万5千筆(県から個人署名、
 2,700筆「昨年は2808筆でした」団体署名185団体)を届けまし
 た。全体集会では、自ら治安維持法弾圧犠牲者の、菱谷良一さん
 の挨拶がありました。また、長野県で教員が治安維持法によって
 弾圧された「二・四事件」(長野県内で608名が検挙、内、138人の
 教職員)について遺族のお話があり大変印象に残りました。長野
 県教員事件のような治安維持法で、その後、全国各地でこのよう
 な教職員などに対する弾圧事件が起きました。

※二・四事件 1933年(昭和8年)2月4日、長野県で農民運動と労働運動
 を弾圧しようと特高警察が治安維持法の目的で教員などを幸づる式に検挙
 した。新聞は一面に「教員赤化事件」と報道しました。中には友達の本を持
 っていただけの人など、自覚的に運動に関わったわけではない人も多数いま
 した。

静岡県下の国会議員室訪問では秘書との対応や、留守の方もお
 り、そんな中、本村伸子議員が唯一、お忙しい中、本人との面会
 ができ、署名簿を託しました。とても気さくにお話され、お茶ま
 で出して頂きました。(県内の国会議員では、小山展弘さんが唯一
 の紹介議員です。今回、面会はできませんでした。)

集会の中で『次年度は13万、15万を目指しましょう...』
 との挨拶がありましたが、経済秘密保護法案等、危険な法案が次々
 と強行される中、私達は署名活動を通じてより多くの人々に訴え、
 政治変える大きな力にすることが急務です。

袋井市 落合はる美



しなやかに軽やかに時に強く NO、7 戦中、戦後も立ち上がる人々

1941年11月国民勤労報国協力令 14歳～25歳までの未婚女子勤労奉仕を義務付ける 1944年～ のち12歳から20歳へ

1941年12月8日真珠湾攻撃 太平洋戦争突入

12月9日 200数十人を逮捕 宮本百合子も逮捕される

翌年夏熱射病で危篤状態 戦争協力を拒み続ける。

1942年2月「大日本婦人会」結成 戦争拡大へ

1942年4月東京空襲、6月ミッドウェー海戦で敗北

1943年2月 ドイツ敗退 7月イタリア 降伏献納、供出

1943年8月 男子はすべて軍需工場に強制徴用される。女子動員強化 家庭生活の根軸たるものは除く銃後の守りは女性の手で

1937年～1945年年平均2万80000人もの看護婦が動員されました。

41年は、18歳から17歳に 44年には、16歳に引き下げ 大量養成で繰り上げ卒業し次々戦地におくられました。

1944年6月 大都市の学校の集団疎開 国民学校3年以上 20万人余りの子のちには3年生以下も千葉、埼玉、山梨、福島、宮城、新潟、長野

1944年11月以降 本土空襲がひどくなる。1945年3月10日未明東京大空襲 3時間江東地区全滅、20万人死傷、100万人被災、

1945年4月米軍嘉手納上陸 18万の兵力沖縄人口50万人 6月総攻撃 11万兵、16万の県民がいのちをうばわれた。

1944年7月東条内閣総辞職

1944年「日本人民解放連盟」戦場の兵士に戦争反対を呼び掛ける組織

1945年5月ドイツ無条件降伏、7月17日からポツダム宣言を発表

8月6日広島、7日長崎原爆投下 8月8日ソ連が、宣戦布告

8月15日「ポツダム宣言受諾」 ラジオ放送 敗戦

中国死傷者1000万人、朝鮮15万人日本軍に編入され死亡

戦死者155万、非戦闘員の死者100万人

民主化をめざして

1945年8月18日占領軍慰安施設設置指令

9月 北海道三井美唄炭鉱闘争

10月 読売新聞社で、生産管理闘争

11月 新日本婦人同盟(婦人有権者同盟の前身)市川房江台所と政治の

10月8日私立上野高等女学校2週間のスト

10月26日～11月19日東京警察病院看護婦130名賃上げ、夜勤料値上げスト勝利 戦後最初の婦人たちの労働組合結成

10月4日「民権自由に関する指令」マッカーサー 幣原内閣成立、

10月10日治安維持法廃止 政治犯出獄

10月11日5大改革指令(1)婦人の解放、(2)労働者の団結権・争議権・団体交渉権の無条件保障、(3)教育の自由主義化、(4)専制政治からの解放、(5)経済民主化

11月日本共産党第4回大会「天皇制打倒——人民共和政府の樹立」

12月「婦人行動綱領」11月日本社会党結成 婦人部

日本自由党、日本進歩党

12月婦人が平等の選挙権獲得

1946年3月婦人民主クラブの結成大会(宮本百合子、松岡洋子、羽仁説子、山野民子)

日本近代女性史米田佐代子著参